

2023年度創価大学教職研究科A日程入試

「教育に関する小論文」

【課題A】

ESDはEducation for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳され、持続可能な社会の創り手を育む教育を意味する。

ESDに関するあなたの考えを述べるとともに、教員として取り組んでみたい分野を1つ選び（次の図を参照のこと）、その構想をできるだけ具体的に述べなさい。



文部科学省「持続可能な開発のための教育」より

(<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm>)

【課題B】

小学校では2020年度、中学校では2021年度、高等学校では2022年度から実施された新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められている。

同時に、2020年に始まったコロナ禍によって、文部科学省は児童生徒1人1台タブレット配付の動きを加速させ、多くの学校で実現された。この現状と相まって「主体的・対話的で深い学び」というキーワードは、「個別最適・協働的な学び」というキーワードへと変化しつつある。

そこで、自身が教師になろうとしている校種の1つの教科を選び、対面授業を受ける全ての児童あるいは生徒が1人1台のタブレットを持っている場合、どのような有効な利用法が考えられるか、「個別最適・協働的な学び」をキーワードに述べなさい。